

第 4 回大楠幼稚園跡施設検討会議事概要

■日 時：令和 6 年 1 月 26 日（金）13:00～14:35

■場 所：大楠幼稚園 2 階プレイルーム

■名 称：第 4 回大楠幼稚園跡施設検討会

■出席者：大楠連合町内会 新倉 繁会長

芦名町内会 高橋会長

長坂町内会 青木会長

秋谷町内会 鈴木会長

久留和町内会 新倉 和夫会長

大楠小学校 土川 P T A 会長

大楠幼稚園 小菅園長・永井保護者代表

大楠地区社会福祉協議会 長塚会長

■説明者：福祉施設課 吉崎主査・長島担当者

子育て支援課（放課後児童対策担当） 田中担当課長

子育て支援課（青少年会館） 蛭田主査

西行政センター 松尾館長・辰沢副館長

F M 推進課 山中課長・石川課長補佐・長谷川主任

池上コミュニティセンター 小池館長

■内 容：1. 第 3 回大楠幼稚園跡施設検討会議事概要（取りまとめ報告）

2. 志木市ふれあい館「もくせい」視察の報告

3. 池上コミュニティセンターの例

4. 新体制の配置図（案）

5. その他（次回のスケジュール等）

■結 論

- ・第 5 回に向けて、市が作り上げたい具体的な案を作成します。
- ・具体的な案において、安全面が確保できるように検討します。
- ・秋谷老人福祉センター跡地にどのようなものができるのか提示します。

志木市ふれあい館「もくせい」視察の報告の内容

（感想）

周辺が住宅地であり、小学校もマンモス校で、施設の利用は徒歩や自転車が主なのではないかと思われました。また、施設・学校の作りそのものが広いと感じました。

（感想）

学校そのものは非常に大きいと感じました。周囲には団地があり、大楠地区とは様子が違うように思います。大楠幼稚園跡施設では同様のカフェ設置は難しいのではないのでしょうか。世代交流はよくできているとは感じました。雰囲気よかったので、その雰囲気作りができればいい気がします。

（感想）

先のお二人と同じ感想です。大楠地区は南北に細長い地域で、移動はバスや車が主になることが多く、簡単に行けないような地区もあって、「もくせい」はフラッと来られるような地域ではあると思います。交流の機会があればいいなと思います。

（感想）

地域の様子の違いはある気はします。

（感想）

学校内で仕切られている様子を感じました。仕切ることができれば、大人の利用もできるのではないかとと思います。セキュリティーには用心を重ねることにこしたことはないと思います。

（感想）

3つのことを感じまして、1つ目は魅力的な講座がいっぱいあったなと思いました。それから2つ目にカフェが多世代交流を可能にしているのではないかと感じました。3つ目は学童と放課後子ども教室の棲み分けができているなと感じました。

池上コミュニティセンターの例の内容

（質問）

駐車スペースは何台分ありますか。

（回答）

20 台以上はあると思います。

（質問）

学童や放課後子ども教室はどうなっていますか。

（回答）

学童はなく、ランドセル置場があります。

（質問）

特定の要注意人物の方はいるものですか。

（回答）

そのような方はいません。

（質問）

小学生と中学生が接することに問題はないですか。

（回答）

特に問題はありません。

（質問）

騒ぐ若者はいないですか。

（回答）

そのような方は見受けられません。

（質問）

会議室は予約制ですか。

（回答）

予約制で月の調整があるわけではありません。自由に使えるスペースも 30 分で交代するルールを作り譲り合っています。

（質問）

秋谷老人福祉センターは女性が多かったが池上はどのような方が集まっていますか。

（回答）

池上はサークルの方が来ています。一般的な講座は女性の方が多いです。

（質問）

未就学児の利用はどれくらいありますか。

（回答）

あまり多くはありません。

（質問）

防犯上で困ったことはありますか。

（回答）

大きなトラブルとなることはありません。利用者の目が働くようで、おかしな方は見かけません。

（質問）

講座の内容は誰が考えていますか。

（回答）

館長であったり、講座の参加者の声を聴いて決めています。

新体制配置図（案）の内容

（意見）

多世代が交わる機会があるのはいいことだと思います。広い公園や屋内で遊べる場所があるといいと思います。安全は第一で、施設の状況にもよるかと思います。

（質問）

公園の要望はあるものですか。

（回答）

非常にあると思います。かなり遠くまでいかないといけない。孤立しているお母様が多くいると感じます。

（質問）

飲食スペースはどのようなイメージを考えていますか。

（回答）

今はスペースの確保だけで詳細の内容は決めています。

（質問）

人が来るには雰囲気作りが必要なのではないですか。

(回答)

ハード面とソフト面の作りは必要だとは思われますが、詳しくは決めていません。

(意見)

やってみていく中で、良い点悪い点の評価をしていくことになるのではないのでしょうか。しかし、時間とお金はかかってきてしまうかもしれないと思います。

(意見)

荻野小学校も空き教室が増えてきている状況となっています。

(意見)

秋谷老人福祉センターの跡地にどのようなものが出来るのか持ってきてほしい。

(質問)

「もくせい」の児童はじかに座っていて姿勢が辛そうでしたけど、何か意図はあるのでしょうか。

(回答)

学童は勉強だけでなく遊ぶスペースも確保するために、固定のテーブルではないのが多いです。

(意見)

大楠幼稚園跡施設は規模感の問題で安全面が論点となっていると思います。問題点をどうクリアし、課題を解決していかないと多世代施設にはならないと思います。

(意見)

市がどれほどのランニングコストをかけられるにもよるのではないのでしょうか。

(意見)

地域の方が全員使える施設が理想だとは思いますが。

(意見)

青少年の家の延長的なもので想定すれば問題も浮き彫りになりやすいのではないのでしょうか。

(質問)

「もくせい」は行政主体で作られたものなのではないのでしょうか。周辺徒歩圏だけの利用になっ

ているのではないか、秋谷老人福祉センターの跡地がどうなるのか、行政側の想いを提示して検討が必要なのではないでしょうか。

（回答）

今回のご意見を受けて、第5回を3月に行い、第6回ではとりまとめたいと思います。

（質問）

市としてはどの案がいいと思っていますか。子どもだけの施設にしてはつまらないと思うが、安全性が確保されないと多世代が利用するには難しいと思います。多世代にする場合の具体的なイメージと、人的予算がどれほどかけられるものなのかも気になります。現状でどちらの案がいいかと言われても判断しかねますし、不特定多数の方が入らないような仕組みは必要だとは思いますが。

（回答）

具体的な資料や考え方を作りこんだうえでお示ししたいと思います。次回の日程調整は予定していた2月28日から3月1日には間に合いませんので、改めて調整させていただきます。